TOSHIBA
Leading Innovation >>>

レグザリンクダビング 取扱説明書

（ブルーレイディスクへ手間なくダビング）

本書について

- 本書は、ソフトウェアのダウンロードで追加された「レグザリンクダビング（ブルーレイディスクへ手間なくダビング）」機能の取扱説明書です。
- 本機で録画したデジタルテレビ放送番組を、レグザブルーレイのブルーレイディスクに、本機の録画番組を直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。
- ブルーレイディスクへのダビングの際に、レグザブルーレイのハードディスクが一時的に作業領域として使用されます。ハードディスクにブルーレイディスク以上の残量が必要です。
- 対象機種はCELL REGZA 46XE2、55XE2、55X2です。
- レグザブルーレイの対象機種はRD-X10、RD-BZ800、RD-BZ700、RD-BR600です。（2010年11月現在）
  ※ RD-BZ800、RD-BZ700、RD-BR600については機能アップデート後の対応となります。

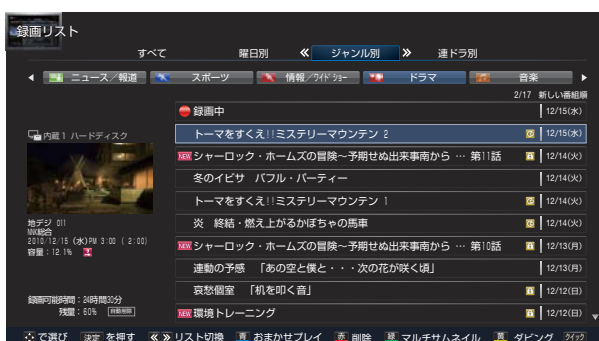
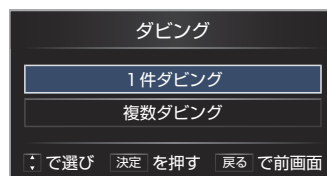
機器の接続・設定について

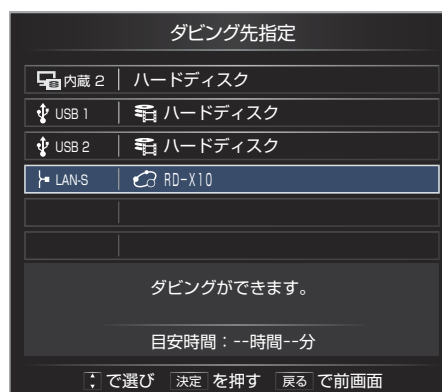
- ネットワーク経由でのダビングとなります。取扱説明書「準備編（58～59ページ）」の「ホームネットワークの接続・設定をする」を参照してください。（DTCP-IP対応サーバーとして扱います）

ダビングの操作

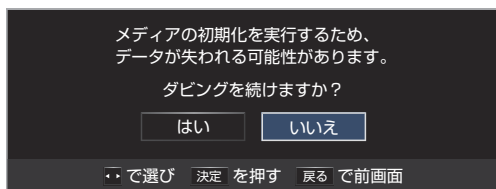
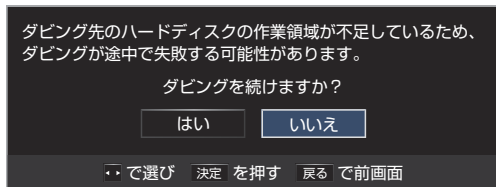
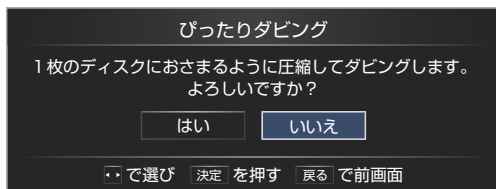
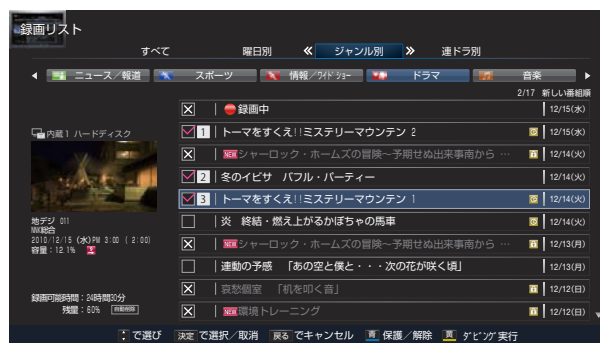
1 レグザリンク を押し、◀·▶で「録画番組を見る」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼·◀·▶でダビング元の機器を選び、決定 を押す

3 録画リスト画面で、ダビングする番組を▲·▼·◀·▶で選び、黄 を押す

4 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定 を押す

5 本機能に対応したレコーダー（レグザブルーレイ）を▲·▼で選び、決定 を押す

次のページにつづく

6 ブルーレイディスクが挿入されているドライブを▲·▼で選び、決定を押す

メッセージが表示されたとき

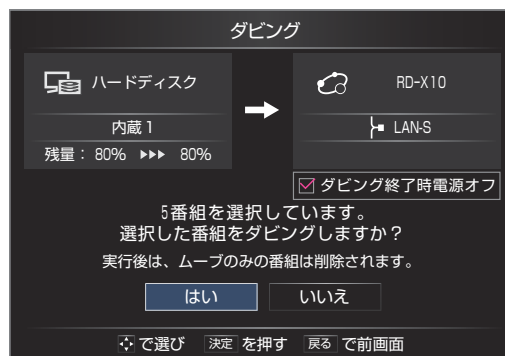
- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態と認識するブルーレイディスクが挿入されていると以下のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます。（レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください）

- レコーダーのハードディスク残量が不足している場合や、ハードディスクに録画できる残りの番組数が不足している場合は、以下のメッセージが表示されます。

- レコーダーが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択した場合、圧縮ダビングによって画質が低下することがあります。

7 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

❶ 複数選択画面で、ダビングする番組を▲·▼·◀·▶で選んで決定を押す

- 決定を押すたびに☑と■が交互に切り換わり、✓をつけた番組がダビングされます。
- 選択した順番でダビングされます。（☑の右側に順番を表わす番号が表示されます）
- 録画中の番組はダビングできません。
- 保護されている番組は、青を押して保護を解除すればダビングできます。
- 一度にダビングできるのは、ブルーレイディスクおよびハードディスクの残量の範囲内で16番組までです。

※ダビングに失敗しないために、ハードディスクの残量がブルーレイディスクの残量より多いことを事前に確認してください。

❷ ダビングする番組をすべて選んだら、黄を押す

8 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、左記のメッセージが表示されます。
- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、▲·▼·◀·▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✓をつけてから「はい」を選びます。

- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書込みが開始されます。